

録画配信 **新年度予算編成**

つぶやき
戸田市の豊かな財政を生かした
予算編成を

日本共産党戸田市議団
ほんだ てつ
本田 哲 議員

Q 豊かな財政活かし物価高騰対策の実施を

A 状況を見定めながら総合的に判断する

議員 当市議団が実施した「市民アンケート」では、2年前と比べ、生活が厳しくなったとの回答が60パーセントに上る。令和7年度予算は、市民生活における負担軽減・生活支援等の施策実施が強く求められる。来年度の予算編成の考え方は。また、本市の豊かな財政を生かし、物価高騰対策を実施すべきではないか。

企画財政部長 「第5次総合振興計画」に掲げる7つの基本目標の実現や市民の「命と暮らしを守る」ための予算編成を進めている。今般の変化していく状況を見定めながら総合的に判断していく。

議員 地方自治の役割は「住民福祉の増進」である。市民が納めた税金は、暮らしに生かすべきである。

Q 市におけるホームドア設置の要請状況は。

A 埼玉県と連携し、積極的に働きかける。

議員 私たちは、埼京線3駅へのホームドア早期設置に向けて要望署名の提出や国会交渉も実施してきた。誰もが安心・安全に公共交通が利用できる環境整備は喫緊の課題。市におけるホームドア設置の要請状況は。

都市整備部長 市内3駅における整備が少しでも早くなるよう、埼玉県と連携し、積極的に働きかけていく。



市内3駅にホームドア設置が求められる

録画配信 **下笹目バス停整備**

つぶやき
高速バスの乗り入れができればいいな～

戸田の会
あそ う かず ひで
浅生 和英 議員

Q バスターミナルはどのように変わるか

A 安心して利用できるようにする予定

議員 下笹目バスターミナルは、老朽化が進み再整備されることになった。基本計画を立て、これから設計に入るところ。①バスターミナルの待合室はどのように変わるか②完成はいつか③国際興業バスは、羽田空港や東京ディズニーリゾートを結ぶ高速バスを運行している。高速バスなどの乗り入れについて。

都市整備部長 ①新たな待合室は、面積を現在の約8倍に拡大し、座席数を18席、女性と男性・多目的兼用のトイレを設置予定。また、バスの運行状況が確認できるデジタルサイネージや地域情報の発信スペースも設ける予定。さらに、ガラス面を大きくとり、光が降り注ぐようにするとともに、防犯カメラや照明施設を設置することで、路線バス最終時刻まで、安心して利用できるようにする予定。なお、敷地内に一般用灰皿などは設置しない予定②令和8年2月頃に工事完了予定③市長が要請しているが、進展はない。機会を見つけて働きかけていく。

議員 西部地域は、スーパー撤退やバス路線廃止など、厳しい状況が続いている。高速バス乗り入れの実現により、経済が活性化する可能性がある。地域の魅力を向上させるために丁寧かつ大胆に進めていただきたい。



下笹目バス停にある待合所

録画配信 **ホームドア早期設置**

つぶやき
ホームドア、埼京線1番目の設置が必須！

みらいの会
ふる や
古屋 としみつ 議員

Q 市内JR3駅でのホームドア早期設置を

A 大変重要であると認識している

議員 ホームドアの設置は、人身事故の抑制に効果的である。早期設置は必須。

都市整備部長 鉄道利用者の安全確保の観点からも、大変重要であると認識している。少しでも早く、市内3駅のホームドア設置の優先順位が上がるよう必要性を訴えていく。



左：埼京線のホームドアなし
右：京浜東北線のホームドアあり

Q 道満で宿泊キャンプができるよう整備を

A 協議が整えばナイトキャンプの検討可能

議員 市において、収益では計れない福祉や教育、防災など多岐にわたる事項がある。しかし、税金を使うだけでなく、市外から稼いで市民の皆様に還元できるのではないかと。例えば彩湖・道満グリーンパークにて宿泊キャンプができるように整備し、ふるさと納税返礼品を利用した市外からの寄付金で収益を上げることはいかがか。

環境経済部長 現状では夜間利用が禁止されているが、荒川上流河川事務所との協議が整えばナイトキャンプについて検討可能となる。

議員 市民の税金で運営されている彩湖・道満グリーンパーク駐車場を、安い市内料金と高い市外料金に分けたらいかがか。

環境経済部長 現状では、市内外の判別が難しいため、市内外料金の設定は困難。

録画配信 **冠水・浸水対策**

つぶやき
水害の無い街の実現を！

公明党
のぶ お
みうら 伸雄 議員

Q 国や県に対して、より一層の支援要望を

A 費用面での国庫補助金を最大限活用する

議員 大規模な雨水貯留管が北大通り地下に来年度完成予定となっているが、この貯留管によるオリンピック通り氷川町周辺の冠水・浸水被害の軽減に効果があるのかを伺う。

水安全部長 オリンピック通り氷川町周辺の雨水を直接、取り込むことはできないが、雨水貯留管が上流に位置していることで下流に流れる雨水の流量を低減させることにつながり、冠水・浸水被害に対して、一定の効果が期待できると考えている。

議員 笹目2丁目が長年にわたり道路の冠水、住居や飲食店への浸水被害に悩まされており、それに伴う対策がこれまで施されてきたが、今後の対策について伺う。

水安全部長 当該地区については引き続き、マンホールポンプの機能向上などの検討をはじめ、流域治水の考えに基づき、部局横断的に取り組むことで、総合的かつ多層的な冠水・浸水対策を推進していく。

議員 雨水貯留管のような大規模な対策について、一層の支援を国や県に求めるべきかと考えるが、見解は。

水安全部長 実施にあたっては、国庫補助金を最大限活用するなど、費用面での国、県からの支援を求めるとともに、河川整備などのさらなる推進についても要望していく。



戸田市 内水ハザードマップ